

## バングラデシュで行方不明の学者、無事帰宅

バングラデシュで昨年11月7日、国連開発計画の会合に出席後に突然姿が見えなくなり、拉致されたと見られていた大学講師ムバシャー・ハサンさんが12月22日、1月半ぶりに帰宅しました。

ハサンさんは、国連をはじめ国内外の機関や団体の宗教関連の会議で意見を求められる著名な宗教の専門家です。当時、著名人が行方不明になる事件が多発し、家族は、すぐに警察に相談しましたが、何の情報も得られずじまいでした。

1カ月半後の12月22日、ハサンさんはダッカ市内で目隠しされた状態で車から放り出され、解放されました。その後、自力で自宅までたどり着き、家族と再会しました。

姉妹のタマンナさんはアムネスティに、「支援に心より感謝します」と伝えてきました。ハサンさんの UA はこれで終わります。皆さん、ご協力ありがとうございました。

## イスラエル、パレスチナ人活動家を釈放

1年半近く、イスラエルの刑務所に裁判もないまま勾留（行政拘禁）されていたパレスチナ人ハサン・ガッサン・サファディさん（26才）が12月7日、釈放されました。

囚人の権利を擁護する NGO 職員のサファディさんは、2016年5月、ヨルダンでの司法と正義の会議に出席後、被占領パレスチナの検問所で拘束されました。その後「敵国（レバノン）を訪問した」として起訴され、一旦は保釈金で釈放される予定でしたが、突如、行政拘禁6カ月間の命令が下されたのです。その後、6カ月の更新が繰り返され、586日後の昨年12月7日、ようやく釈放されました。

サファディさんからアムネスティへのお礼の言葉です。「行動してくれた人たちに感謝します。パレスチナ人は、当局から常に嫌がらせを受け、沈黙を強いられています。皆さんの支援ほど心強いものではありません」と。

## ウズベキスタンの元「良心の囚人」が死去

ウズベキスタンより、悲報が届きました。前国会議員で良心の囚人だったムラド・ズラエフさんが12月初旬、亡くなりました。

ズラエフさんは1995年、時の政権の思惑で国家反逆者に仕立てられて起訴され、不公正な裁判を経て、実刑12年を受けました。さらに、収監中に「人参のむき方が悪い」など、「刑務所の秩序を乱した」として4回も刑期を引き延ばされました。アムネスティでも、拷問禁止キャンペーンにズラエフさんを取り上げて、釈放を求めましたが、ズラエフさんの獄中生活は21年間も続きました。そして2015年11月、ようやく釈放されました。

昨年10月には、特定の元囚人に認められていなかった渡航が許され、念願の国外での治療の道が開けたのでした。アムネスティでも歓喜の声が上がりましたが、その矢先の今回の訃報です。



ズラエフさんは、権力を恐れず政府を批判する勇気と知性ある人物でした。彼の死は、家族はいうまでもなく、人権団体、そしてウズベキスタンにとっても大きな損失です。

ズラエフさんのご冥福を心よりお祈りいたします。

### UA ニュース

発行：アムネスティ・インターナショナル日本  
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル7F  
TEL: 03-3518-6777 FAX: 03-3518-6778  
E-mail: uaoffice@amnesty.or.jp

UA 年会費 3000円  
郵便振替 00120-9-133251  
加入者名 公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本